

2023年7月20日 十一年を経て

守れた命がある、防げた死であるということを  
深く心に刻み、  
事故の再発防止と未然防止の理解が、  
社会全体に広がることを、  
心から願います。

この想いは、今後も、何一つ変わることはありません。  
「事故から10年たったのだから、もういいだろう・・・」  
こうした声が聞こえてくることに、失望と虚無感に、  
心が砕けそうになることがありましたが、  
子どもの命を守るという大人の責任に対して、  
このような線引きをすることはできません。

遺族が声を上げ続けなければならない状況  
を変えたいということも、  
大きな課題で、目標でしたが、  
辛い状況に直面したとき、  
慎之介は、どんな風に思うかなと、  
心に問いかけながら生きていきました。  
そんなときも、  
目の前に浮かぶのは、慎之介の笑顔なのです。  
こどもたちは、私たち大人に、  
一緒に笑顔でいてほしいと、心から望んでいるのだと思います。

11年という年月の中で、  
こどもたちの未来が輝くようにと願う  
熱意ある人々との出会いは尽きません。  
一人一人の思いと行動が、将来へ繋がりますように。  
このメッセージを受け止めてくださった皆さまに、  
感謝の気持ちを込めて、  
次の一步を踏み出したいと思います。

2023年（令和5年）7月20日

吉川優子